

Tokorozawa

ものしり ウォーキング

山口・菩提樹

現在の山口は、江戸時代には岩崎村、堀之内村、町谷村、打越村、水川村、菩提樹村の各村に分かれていました。これらの村名は地名として地図上から消え、今ではわずかに自治会の名称として残っているだけとなりました。

山口の西方は菩提樹という地域で、江戸時代には菩提樹とも書きました。地名の由来は、村内に菩提樹の大木があったことによると言われています。菩提樹自治会館近くの翁樹神社境内には、ゆかりの菩提樹と昭和6年に建てられた「名木 菩提樹」の石碑があり、地名の由来をしのぶことができます。近くの密蔵院には「菩提樹村の由来」碑も建てられています。

昭和50年代までの菩提樹は水田が広がっていました。水田は、菩提樹池のある谷間から密蔵院の門前を経て、狭山丘陵の方まで連なっていたといえます。

狭山丘陵の地形は、開析(河川の浸食作用により谷などが刻まれていくこと)により幾つもの谷がつくれ、谷間の周辺からは湧き水が出て湿地ができた、幾つもの流れが集まって小川ができたっていました。人々はそうした水や土地を利用して、昔から水田耕作を営んできました。

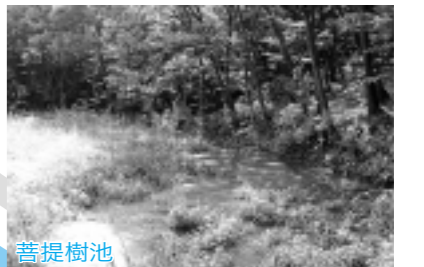
谷間の低地や湿地を谷戸あるいは谷津といい、そうした場所にある田んぼを谷戸・谷津田といいます。菩提樹池のある場所は、小字を「堰入(せきいり)」といいます。谷戸の意味で、谷戸を堰き止めたところともいえます。狭山丘陵内には、このような谷戸にちなんだ地名が数多く見られ、一つ一つに名前が付けられていました。菩提樹だけでも、セキイリのほかユミガヤト、マトバヤツ等の呼び名があります。

菩提樹池は、地元の人たちの間で「セキイリの池」と呼ばれてきました。谷戸があったところは、池の水を調節し田用水として利用していました。

現在、菩提樹池は自然観察や散策の格好の場所となっていますが、谷沿いを歩くと人びとが自然の恵みを利用しながら農業を営んできた、かつての姿をかいま見ることができます。

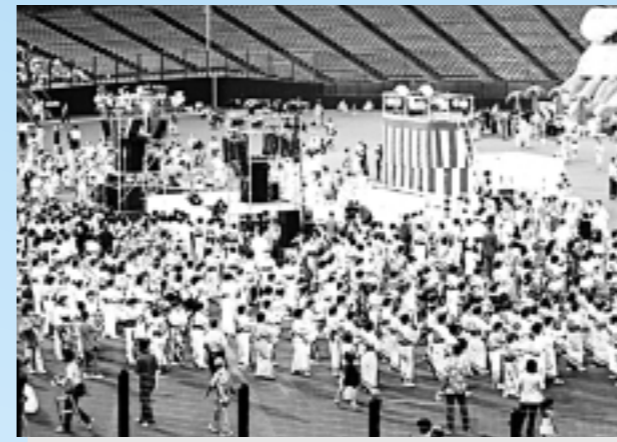


名木 菩提樹



菩提樹池

# みんなの広場



▲6年ぶりの再開に、約2万5,000人が詰めかけ踊りを楽しんだ「夏の市民まつり納涼盆踊り大会」。8月14日(水)/西武ドーム



▲包丁の構造を知り、手入れ方法を体験した「出張リサイクル工房・包丁研ぎ講習会」。8月8日(木)/新所沢公民館



▲夏休み中の子どもたちが参加して、雑木林の中を歩きながら自然観察をした「環境ふれあい教室」。8月20日(火)/いきものふれあいの里センター周辺

## 街かどズームイン ZOOM in

▶皆さんからの「街かどズームイン」情報を募集▶採用者には事前に連絡します▶「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内▶文章は添削あり▶掲載者には記念品を進呈▶今回のテーマは「山」▶山といえば登山。縦走や低山ハイク等、楽しみ方はいろいろです▶絶景の山を眺めながらのドライブもすてきですね▶海辺の砂浜で作る大きな砂山は子どもたちの夢の城です▶皆さんの山に対する思い出や、体験談をお寄せください▶締め切りは9月13日(金)必着▶住所、氏名、年齢、電話番号を明記▶送り先: 〒359-8501 並木1-1-1 所沢市役所秘書広報課「みんなの広場」係

### スリムな蜂

和ヶ原・香坂 彪

何もなないへんに、結構虫が迷い込んでくるのです。アケハチヨウヤシ等の大型の小型のものから、マメコナヤシ等の小型のものまであります。所沢は、昆虫の食糧が豊かである証拠でしょう。



▲猛暑の中、8kgもある防火着を身にまとい消火訓練に挑戦。「向陽中学校・3daysチャレンジ」。8月12日(月)~14日(水)/消防本部

「リサイクルふれあい館」  
●譲ります ▶藤のついで▶木製机▶椅子  
も用着物着付練習用ボディー▶男性用乗馬ヘルメット▶靴▶大正琴▶ピアノ▶楽器(鍵盤)▶乳幼児用背負子▶組み立て式防音室▶大人用一輪車▶オーブン▶ソング旅行バック  
●求めます ▶大型テレビ▶大人用マウンテンバイク▶子ども用自転車▶ノートパソコン▶古い時計▶入浴剤▶手押し車  
▶折りたたみ扇機▶  
受付方法 ▶9月10日(木)から電話による先着順で紹介します。ただし、利用者は所沢市民に限ります。  
休館日 ▶月曜日、祝休日  
申し込み・問い合わせ ▶リサイクルふれあい館(TEL)0429-000000

## リサイクルふれあい館 不用品ガイド



テーマ「昆虫」

狭山ヶ丘・田中 真由美  
私の美家の狭山ヶ丘、ここ5年くらい続いている「音響」のような出来事があります。それは、クワガタの冬眠です。しかも、毎年だいたい秋に入ると、玄関にクワガタがやってくるのです。

父が教えてくれた遊び  
北秋津・小針 初美  
三重県津市の遠い昔の懐かしさ思い出します。小学3年生の春に亡くなった父がいろいろな遊びを教えてくださいました。私が最も気に入ったのは、

昆虫の観察  
花園・横沢 三夫  
所沢に住んで37年、小庭のある家がはさながら草木園になった風情だ。

はつらつと野老っ子  
ゆりこ 裕子さん (宮本町在住)  
入ったのはトンボ採りです。長い糸の先にギンヤンセンの胴をへり付け、一方の端を手に持ってトンボをへりかきながら近づけていきます。やがて足はガシガシと音をたてて地面に倒れかけた瞬間、素早く伏せて捕まえます。

次回テーマは「虫」  
私には虫が大好きです。ましてや虫の中で飼っている。ところが虫好きのババの影響なのか、5歳と2歳の息子たちも大の虫好き。家のクワガタやカブトムシ、それらの幼虫が所狭に並べられています。世話ほら歳の息子の係。ババは掃りが遅いので、結局私が手伝っています。